

IHRA国際フォーラム2022

混迷の時代のその先へ

～高速鉄道と共に切り拓く新たな世界～

実施報告

2022年10月26-29日 於名古屋

一般社団法人 国際高速鉄道協会

IHRA国際フォーラム2022 スケジュール

	10月26日 (水)		10月27日 (木)		10月28日 (金)	10月29日 (土)
AM			09:30～11:30 IHRA国際フォーラム2022 オープニングセッション		08:30～11:00 全体会議 (於 JRゲートタワーカンファレンス)	
		09:30～17:00 海外メディアレク ・ツアー JR東海名古屋運輸所、 浜松工場視察	11:30～12:45 昼食	10:30～ 15:00 配偶者 プログラム (有松・鳴海)		
PM	15:30～16:30 国内メディアレク		12:45～17:05 IHRA国際フォーラム2022 セッション1～3		11:00～12:30 テクニカルビジット 1・2コース共通 リニア中央新幹線名古屋駅工事状況視察	
	17:00～18:00 IHRA理事会		17:10～17:40 記者会見	12:30～20:00 コース1: JR東海小牧研究施設 & トヨタ産業技術記念館 コース2: 日本車輛製造 豊川製作所 11:30～20:00 コース3: 中山道、馬籠宿、中津川、恵那		
夕食	18:30～21:00 ウェルカムレセプション		18:30～21:00 グランドレセプション (於 リニア・鉄道館)			
会場	名古屋マリオットアソシアホテル					

2022年10月26日（水） ウェルカムレセプション①

■ IHRA委員・海外ゲストなどを招き、ウェルカムレセプションを開催 於 名古屋マリオットアソシアホテル
IHRA委員、海外ゲストを中心に、12カ国より124名が参加（うち海外は55名）



宿利理事長による開会挨拶



オープニングセッション登壇者紹介



セッション2 登壇者紹介



Robb 元豪州貿易投資大臣による乾杯



セッション1 登壇者紹介



セッション3 登壇者紹介



会場の様子



和菓子づくりパフォーマンス



新幹線車両を模した和菓子の振る舞い



Patterson理事長代理による中締め

2022年10月27日（木）フォーラム（メイン会議）（1/5）

■ オープニングセッション、セッション1～3の計4セッションを実施

12カ国より328名（内：海外より69名）が出席

参加国：オーストラリア・カナダ・インド・インドネシア・マレーシア・シンガポール・タイ・台湾・イギリス・アメリカ
・スペイン・日本

■ 開会

開会挨拶 宿利正史 理事長
ビデオ 岸田文雄 内閣総理大臣
来賓挨拶 齊藤鉄夫 国土交通大臣
(代読 水嶋智 国土交通審議官)
ビデオ Rahm Emanuel 駐日米国大使



■ オープニングセッション

歴史の転換 ～変わりゆく国際秩序の新たな姿と交通～

モデレーター

パネリスト

-ASEAN

-インド

-米国／豪州

-欧州

-日本

道傳愛子、NHK国際放送局 シニア・ディレクター

Syed Hamid Albar, 元マレーシア外務大臣

Deepa Gopalan Wadhwa, 元駐日インド大使

Tom Schieffer, 元駐日米国大使

David Howell, 元英国運輸大臣・エネルギー大臣

齋木昭隆、元外務次官



■セッション1

国家戦略として高速鉄道プロジェクトに取り組む各国の現状と展望

モデレーター	-英国	Roderick Smith, インペリアルカレッジ・ロンドン名誉教授
パネリスト	-豪州	Danny Broad, オーストラージアン鉄道協会（ARA）会長
	-タイ	Arkhom Termittayapaisith, タイ王国財務大臣
		Pichet Kunadhamraks, タイ王国運輸省鉄道局長
	-インド	Achal Khare, インド高速鉄道公社（NHSRCL）元総裁
	-英国	Mark Thurston, High Speed Two (HS2) Ltd, CEO



■セッション2

高速鉄道が創出する未来と挑戦～中央新幹線計画と北東回廊SCMAGLEV～

モデレーター -日本 森地茂、政策研究大学院大学名誉教授
パネリスト -日本 柘植康英、東海旅客鉄道株式会社 代表取締役会長
-米国 Wayne Rogers, TNEM社CEO



■ セッション3

持続可能な社会に高速鉄道が果たすべき役割とその可能性

モデレーター
パネリスト

- 英国 Anson Jack, Birmingham大学名誉教授
- 台湾 陳強 台湾高速鉄道株式会社 上級顧問（元取締役副社長）
- スペイン Manel Villalante, RENFE社（スペイン国鉄）戦略成長本部長
- 日本 深澤祐二 東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長



■ 閉会挨拶

-カナダ Larry Kelterborn,
LDK アドバイザリー社社長



2022年10月27日（木） グランドレセプション

■ IHRA委員、海外ゲスト、日本政府を含む高速鉄道関係者、各国大使館、正会員企業等を招きレセプションを開催
於 リニア・鉄道館

13ヶ国より225名が出席（内：海外75名）



宿利理事長による開会挨拶



大村愛知県知事による来賓挨拶



Arkhomタイ財務大臣による中締め



柘植JR東海会長による乾杯



宿利理事長・大村知事・柘植会長・天野館長
によるフォトセッション



天野館長による館内見学ツアーの様子 10

2022年10月27日（木） 配偶者プログラム

■ 配偶者向けプログラムとして、有松・鳴海絞染体験ツアーを実施
9名（インド、インドネシア、マレーシア、タイ、アメリカ、カナダ、日本）が参加



有松の町並み散策



絞染体験の様子



集合写真

2022年10月28日（金） 全体会議

■ IHRA委員・海外ゲストを招き、全体会議を開催 12カ国より90名（内：海外より37名）が出席

参加国：オーストラリア・カナダ・インド・インドネシア・マレーシア・シンガポール・タイ・台湾・イギリス・アメリカ・スペイン・日本



全体会議の様子

参考：IHRA国際フォーラム2022 主な出席者（登壇者を除く）

1. 海外

- 台湾： 鍾蕊芳（ロエイ・ファン・チュン）台湾高鉄副社長
- 豪州： アンドリュー・ロブ 元貿易投資大臣
（IHRA上席顧問委員）
- タイ： ナコーン・チャンタソーン 国立科学技術開発庁顧問
（IHRA技術検討委員）
- インドネシア： ハルノ・トリマディ 運輸省鉄道インフラ局長
スタント・ソエホド インドネシア大学教授
- シンガポール： ジー・ジャン・リム 運輸省陸上交通局長
ラマ・ベンクタ 陸上交通庁グループディレクター
（IHRA技術検討委員）
- マレーシア： モハマッド・ヌル・イスマイル・カマル 高速鉄道公社CEO
- インド： ラジェンドラ・プラサド インド高速鉄道公社総裁
- 米国： ボブ・ロウビー 元連邦鉄道局（FRA）副局長
（IHRA技術検討委員）
レオ・ウェトラ 運輸省ビルドアメリカ局プロジェクト責任者
マシュー・センザー 駐名古屋米国領事館首席領事
ジョー・シュメルザイツ 元駐日大使首席補佐官
- イスラエル： 綾尾健嗣 駐日イスラエル大使館経済部商務官

2. 日本

- 政府・自治体： 鶴岡公二 元駐英日本国大使
四方敬之 内閣総理大臣官邸 内閣広報官
大村秀章 愛知県知事
青山節児 中津川市長
- JR各社： 島田修 JR北海道代表取締役会長
最明仁 JR東日本常務執行役員（IHRA理事）
金子慎 JR東海代表取締役社長
小菅俊一 JR東海特別顧問（IHRA理事）
真鍋精志 JR西日本相談役（IHRA上席顧問委員）
石原進 JR九州特別顧問（IHRA上席顧問委員）
青柳俊彦 JR九州代表取締役会長（IHRA理事）
- 正会員各社： 村生弘 川崎車両株式会社 代表取締役社長執行役員
國澤良治 京三製作所 代表取締役社長
五十嵐一弘 日本車輛製造株式会社 取締役社長
渡辺郁夫 鉄道総合技術研究所理事長
岩田真 JR東海コンサルタンツ株式会社 社長

■コース1・2共通

リニア中央新幹線建設に関するブリーフィング（名古屋市、JR東海） 名古屋駅中央西工区の視察

95名（オーストラリア、インド、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、台湾、イギリス、アメリカ、カナダ、日本）



日下雄介 名古屋市住宅都市局長によるブリーフィング



加藤均 JR東海執行役員によるブリーフィング



名古屋駅中央西工区視察



■コース1

「高速鉄道技術の進化と革新を支えるR&D ～安全・安定輸送、輸送サービスの充実、低コスト化への飽くなき挑戦～」

視察先：JR東海小牧研究施設、トヨタ産業技術記念館

32名（オーストラリア、カナダ、インド、インドネシア、台湾、シンガポール、タイ、イギリス、アメリカ、日本）



JR東海小牧研究施設にて



JR東海小牧研究施設 車両運動シミュレータ



トヨタ産業技術記念館

2022年10月28日（金） テクニカルビジット

■コース2

「高速鉄道車両の製造 ～100年受け継がれる車両製造の現場～」

視察先：日本車輛製造豊川製作所

34名（オーストラリア、インド、マレーシア、シンガポール、タイ、イギリス、アメリカ、日本）



日本車輛製造豊川製作所にて



N700S系車両（試験線にて）

■コース1・2 夕食会



夕食会風景



Lauby元米国連邦鉄道局（FRA）副局長による中締め

■コース3

「日本の旧街道・中山道を旅する ～リニア中央新幹線によって変わる街、変わらない歴史と伝統～」

中津川市長によるブリーフィング、馬籠宿・恵那の視察

20名（オーストラリア、カナダ、インド、インドネシア、マレーシア、タイ、アメリカ、日本）



馬籠宿（中津川市）散策



馬籠宿（中津川市）散策



中山道広重美術館（恵那市）にて



夕食会風景

2022年10月29日（土） リニア試乗

■海外ゲスト向けにリニア試乗を実施 於 山梨実験センター

参加者数：47名（オーストラリア、カナダ、インド、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、台湾、イギリス、アメリカ、日本）



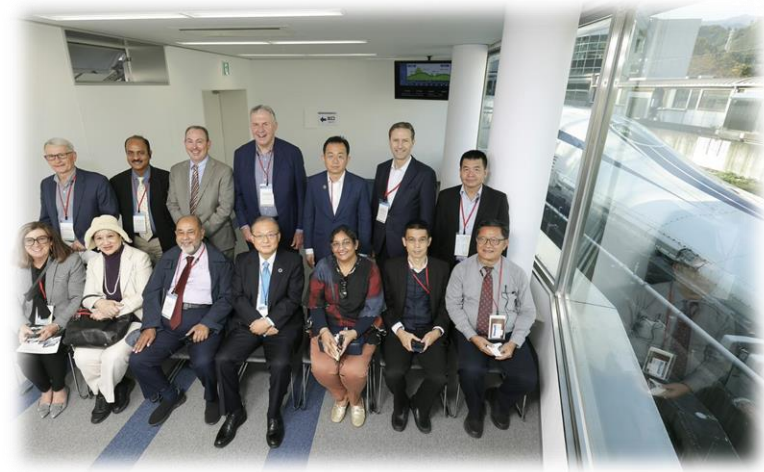
リニア走行場面の視察



リニア車内風景



リニア車内風景



集合写真